ブロックだより

東北ブロック総会（宮城県支部主催）

平成25年10月20日(日)ホテル松島大観荘にて第31回の校友会東北ブロック総会が開催されました。

来賓として通信教育部より近藤健史先生、校友会本部から鈴木孝司氏にお出でいただき、これからの日本大学の将来構想、学生の活躍の様子、通信教育部の移転等…。また、地方からの入学生に対して学習環境や施設の整備、充実を図るとの挨拶を頂きました。

総会参加者19名の自己紹介終了後は、仙台大学客員教授の伊達宗弘氏の講演。テーマは「ローマに馳せた夢ー慶長遣欧使節」。元宮城県の図書館長として努めておりましたので、豊富な資料と写真を示され内容の濃いお話を頂きました。折しも使節派遣四百年という節目の年で、仙台市博物館では特別展が開催されている時期でありました。

協議に入り山形県の大塚東北ブロック長が議長となり、各県の校友会の活動状況の意見交換をしました。いずれの県においても、「会員数の減少と高齢化」新卒者、若年層に対して校友会への「意識改革、勧誘」が必要ではないか。との結論になりました。

懇親会では、青森県の奥野支部長の乾杯の発声で宴を進め、和やかな雰囲気で時のたつのも忘れ、初めて参加した当県の校友も、もっとお堅いと感じの東北ブロック総会と思っていたようで感激していました。中締めは次回開催県の矢吹支部長より「福島に全員集合」の力強い抱負の挨拶を頂きました。

翌日の朝食後は、それぞれの予定により再会を期して別れの途につきましたが、3月11日の被災地を訪問してみたいとの希望もありましたので、石巻を中心に拙い案内をして締めくくりました。東北ブロック総会（宮城）への参加の皆さん（協力有難う）ございました。

（文責　支部長代理　一條）

関東ブロック総会（千葉県支部主催）

平成25年10月27日(日)に銚子市犬吠埼ホテルにて関東ブロック会が開催され、36名の方が出席されました。次第は以下の通りです。

1、総会
（午後2時30分～午後4時）
（1）開会ことば　司会　仲井副支部長
（2）校歌斉唱　山本良吉顧問
（3）主催者挨拶　目黒重忠支部長
（4）関東ブロック長挨拶　金子栄輔氏
（5）祝辞
御欠席の大学通信教育部長の福田弥夫先生より盛会と会員の健勝を祈念するメッセージを鈴木勝氏が代読されました。また、遠藤茂勝日本大学校友会千葉県支部幹事長及び白戸忠志通信教育部校友会会長からも祝辞を頂きました。
（6）議事
議長　増田顧問・森副支部長
①各支部の活動報告
茨城県支部磯崎支部長・栃木県支部高松支部長・埼玉県支部鎌子支部長・東京都支部金子支部長・神奈川県支部本間支部長よりそれぞれ、活動報告がありました。
千葉県支部は目黒支部長が担当し、年4回の支部役員会の開催、会報の発行、支部総会に手立てを打っている等、支部の活動状況を報告しました。
②関東ブロック長提案事項
金子栄輔氏より関東ブロックは、山梨県を含む1都7県とする、又、この会の名称を「関東ブロック総会○○県・都大会」に統一する旨提案がありました。
③本部活動報告
鈴木勝氏より活動報告がありました。又、本部役員の任期が来年3月までであり、来年度は改選の時期となります旨お話がありました。
④次期開催支部指名
平成26年度主催支部は、栃木県支部となり、高松支部長より引き受けられる旨の言葉がありました。
（7）議長解任
（8）閉会のことば　行木幹事
2、懇親会
総会終了後、午後5時半より、立澤幹事・高垣副支部長の両司会で懇親会が始められました。
目黒重忠支部長の主催者挨拶、鈴木勝副会長の乾杯のあと、お隣同志、近況などの話で盛り上り、いつもの顔ぶれが揃った事がなによりでした。途中、ロマンの歌が歌われ、女性陣の美しい歌声が場内に流れました。
3、観光（10月28日）
午前8時半にロビーに集合し、まず犬吠埼灯台に行きました。灯台に登る99段のらせん階段に四苦八苦し、次の目的地、ヤマサ醤油工場では、大きな原料タンクに驚きながら、広い敷地内を見学しました。
11過ぎに昼食会場「ウォッセ」で刺身定食を堪能し、銚子駅で散会しました。

＊　＊　＊　＊　＊

10月26日の台風接近に心配させられましたが、多くの方々にご出席いただき、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

（文責　高橋・高垣）

北信越ブロック総会（福井県支部主催）

平成25年9月21日(土)あわら温泉「ホテルグランディア芳泉」で、午後3時30分より北信越ブロック総会が開催されました。

出席者（来賓）
通信教育部校友会副会長　山本　良吉
通信教育部校友会相談役　岡田　伊知夫
通信教育部校友会副会長兼関東ブロック長　金子　栄輔
開催ブロック内参加
長野県支部　3名
新潟県支部　3名
富山県支部　5名
石川県支部　3名
福井県支部　1名
が出席されました。

司会は、北信越ブロック長館聖が務め、総会次第により進行した。

総会
一、開会の辞　福井県支部長　佐賀　美博
二、校歌斉唱　富山県支部顧問　谷　繁義
三、挨拶
北信越ブロック長館　聖
副会長　山本　良吉
福田通信教育部長からのメッセージ紹介
四、来賓挨拶
五、議事
①北信越ブロック総会の運営について
②各県支部活動の現状について
③関東ブロック会の現状について
④次回ブロック総会の開始
支部について
議長に館聖北信越ブロック長で協議に入った。
①については、山本副会長から全国各ブロック会における現状等について説明があった。
②については、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県の各支部長から活動報告がなされた。ただ、福井県支部の後継者問題は深刻であった。
③については、金子関東ブロック長からブロック会における取組状況等の実際の運営において成功したもの、しなかったものを体験談と大江戸通信を交えての話し振りには、北信越ブロック会として大変に参考になった。
④については、輪番により、長野県支部が担当することに決定した。
六、閉会の辞　佐賀　美義

福井県支部長　佐賀　美義記念撮影懇親会館北信越ブロック長の司会で、佐賀福井県支部長の歓迎の挨拶、来賓の金子副会長兼関東ブロック長から丁重な挨拶を賜わり、岡田本部相談役の乾杯で懇談に入りました。今回は、出席者全員による自己紹介があり、歓談に時間が経つのも忘れ、大いに盛り上がりました。

館ブロック長の謡曲「鞍馬天狗」、谷富山県支部顧問の締めによる「日大節」が披露された後、館北信越ブロック長の万歳三唱をもって散会となりましたが、相互の親睦を深めて、和やかな楽しい雰囲気に包まれた福井県大会は、長野県での再会を約して終了しました。

（文責　館　聖）

近畿ブロック総会（兵庫県支部主催）

平成25年10月26日(土)有馬温泉有馬ビューホテルにおいて21名の出席者で開催されました。

総会は幹事支部の兵庫県支部長が努め式次第で進行した。

一、開会の挨拶　支部長　前田　忠義
二、日本大学校歌斉唱
三、近畿ブロック長挨拶　三村　洋一
四、来賓・出席者紹介
五、議長選出
六、議事　副支部長　岸本　卓也
①校友会副会長・総務部長　肱岡　堅一
校友会会長・通信教育部長挨拶文を代読。
②近畿ブロック各支部の報告
③近畿ブロック長は三村洋一氏から津村博文氏へ改選される。
④次年度は奈良県支部幹事で開催決定。その後審議事項は議長の下承認されました。
七、閉会の辞（記念写真撮影）
八、太閤の湯で温泉三昧しました。

懇親会は副支部長植田克郎が務め乾杯して有馬御膳料理を食べ、歓談、カラオケ等盛り上がり、会員相互の親睦を深めました。

※一夜明け日本書紀から現在の有馬観光の散策をガイドさん付で楽しみました。昼食をとり、次回を約束して散会しました。

（文責　支部長　前田　忠義）

中国ブロック総会（島根県支部主催）

平成25年8月24日(土)
場所　松江市千鳥町「ホテル白鳥」
出席（来賓）
関根二三夫教授、師田袈裟茂本部広報部長、熊本昭典本部会計、石川寿郎本部顧問、浅野恭司本部相談役、山崎孝明四国ブロック長
（校友）
山口県　4名
広島県　4名
岡山県　3名
鳥取県　4名
島根県　7名
総会
司会　支部副支部長山下嘉三
一、物故者黙祷
二、校歌斉唱
三、開会の言葉　支部幹事　宮崎　健治
四、歓迎の言葉　中国ブロック長・島根県支部長　坂本　育穂
五、来賓挨拶
日本大学教授　関根二三夫
校友会副会長　師田袈裟茂
六、議長選出
坂本　育穂島根県支部長
七、議事
①大学近況報告　関根教授
②校友会近況報告　師田副会長
③各県支部活動状況報告
（広島：谷川）校友会活性化について、オール日大を通して先輩の人脈を頼る、在学生への呼びかけも積極的に努力。新聞発行。
（島根：安田）9月に会則の見直し、新役員を選ぶ県支部総会開催予定。
（岡山：安部）名簿の見直しで100名にハガキ送付。
（山口：佐伯）例年10人程度で12月に総会、新人がないのが悩み。
（島根：山下）年2回新聞発行。郵便の届く範囲50％が2千円会費納入。
④次回26年度は山口県開催決定。
⑤次年度中国ブロック長に坂本氏を選任。中国ブロック役員選考委員に佐伯和夫山口県支部長を選任。
⑥情報交換
八、議長解任
九、ロマンの歌
十、閉会の言葉　宮崎　健治
十一、講演
校友会四方山話（水産練習船「神海丸」新造秘話）平成7年商学部卒酒井實三酒井校友は島根県教育庁高校教育課指導主事、水産練習船担当。
①大相撲幕内力士隠岐の海は隠岐水産高校出身、練習船実習で、図体が大きくてベッドに寝られずフロアに寝ていた等々隠岐の海のエピソード。
②島根県は神海丸の新造を宮城県石巻市の造船所に発注。平成23年3月、東日本大震災の大津波により同造船所は壊滅的被害を受けたが、島根県は無条件で一年間を猶予、同工場は再建工事と平行して建造を進め、25年4月竣工。船体舷側の帯に、島根県の「赤」、岩手県の「青」、福島県の「オレンジ」、宮城県の「緑」と各々の県旗の色を塗り分け友情の絆を表す。

記念撮影
懇親会　司会　岩崎　幸夫
賛助会員4名が加わり、総勢33名。宍道湖畔は、絆を更に深める大盛会の一夜となった。

8月25日(日)
観光
場所松江市八束町「大根島」
参加者19名。
①竜渓洞。20万年前火山の噴出により溶岩流で生成された規模小とは言え世界有数のトンネル。目が退化した希少生物が生息。
②中村元記念館。世界屈指の松江出身仏教哲学者で文化勲章受章者の故人生誕百年を記念して平成24年に設立。
③由志園。残念ながら牡丹は季節外れ。庭園周遊後、昼食を摂りながら歓談。
※今回の最古参は鳥取倉吉の山本幹校友（S36経）。折からの暑中にも拘らず2日間全日程ご出席に敬服。勿論、その他の校友及び賛助会員にも深甚の感謝を捧げる。（文責　坂本　育穂）